

石橋委員（自民議連）

平成30年3月7日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）親になるための学びについて

中・高校生に対し、乳幼児との触れ合いの機会を提供したり、親としての責任や喜びを学ぶプログラムを実施してはどうかと考えるが、教育長の見解を伺う。

（答）

親になるための学びにつきましては、中学校の技術・家庭科や高等学校の家庭科におきまして、すべての生徒が幼児の発達や親の役割などについて学習しており、さらには保育園などに赴いて実際に乳幼児と触れ合う体験をしている学校や、総合的な学習の時間などで県教育委員会が開発しました、子育ての素晴らしさや親の責任、命の重さなどについて参加体験型で学ぶプログラムを実施している学校もございます。

県教育委員会といたしましては、今後、これらの取組を機会をとらえて、市町教育委員会や各学校に紹介することなどによりまして、将来、親となる世代が自信と安心感、責任感をもって子育てができるように、親になる準備期の教育の充実を図ってまいります。